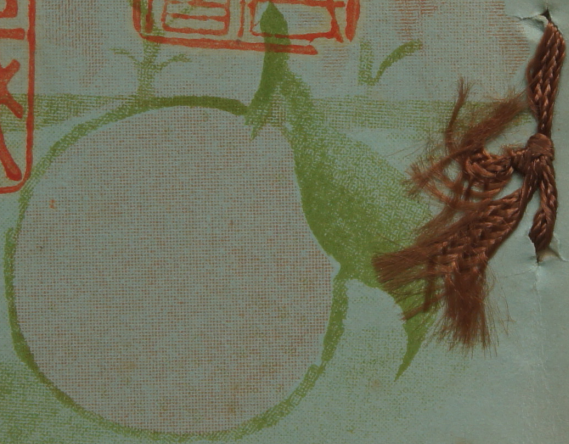


秋の民謡

明城
文庫



目次

萩の歌(男なら)	一
住吉神社お船唄	四
萩小唄	七
新萩小唄	二
夢の萩街	三
春は櫻	七



萩の歌「男なら」

今は昔七十余年前文久元治の頃外國の軍艦頻りに我が近海に出没し物情騒然たりし時、防長二州の男子は殆んど下關、三田尻方面に出動して海防の任に當りましたが、偶々露西亞の軍艦が萩沖合を通航すること二回に及び、防長の首都たる萩の防衛最も急を告ぐるに至り、留守居の婦人等奮然蹶起して元治元年三月より約半年を費し萩の海岸一帯に台場を構築したのであります。その當時の眞劍さは家老の令嬢と乞食娘とが相共に奮もつこを荷負つたと云ふ事實に徴しても想像されるのであります。次の歌はその時の應援歌で目下盛んに喧傳せ

ハ調⁴/₄

男 なら

6 | 2̣ 1̣ 6̣ 6̣ 5̣ 1̣ | 5̣. 3̣ 2̣ - 0 1̣ | 2̣ 3̣ 5̣ 6̣. 6̣ | 1̣ 6̣ 6̣ 5̣ 5̣ |

を と こ な ら お や り か つ い で お

6 3 5 1 2 | 2 2 0 6 1 | 6 1 2 5 | 3 2 2 3 1 6 |

ちゆうげんとな 一つてついで ゆきた やしもの

2 - 2 0 | 5 5 5 5 3 3 3 5 3 | 2 2 2 2 2 0 | 5 5 5 5 3 3 3 5 3 |

せ き そんわうじやういご きくからは をんなながらも

2 2 2 2 2 0 | 5 5 5 5 3 3 3 5 3 | 2 2 2 2 2. 1 | 2 2 4 5. |

ぶしのつま まさかのさきには しめだすきじ んごうくわうごう

5 2 0 3 | 5 6. 6 1 | 5 3 2 3 3 | 1 6 1 2 2 2 2 |

3 さんのさん かんたい ぢが かが み じやないかい

2 0 5 5 | 3. 1 2 - | 2 0 0 0 ||

な おお しやり しやーり

られ儼存せる台場と共に當時の意氣を物語つて居ります。

へ男なら、お棺かついでお仲間となつて

ついて行きたや下の關

尊王攘夷と聞くからは、

女ながらも武士の妻

まさかの時はしめだすき

神功皇后さんの三韓退治が

かぢみじやないかいな

オ、シヤリ

住吉神社お船唄

此のお船唄は毛利元就公が嚴島に於て陶治賢を討ち亡されし時の凱旋歌なりと傳へられ、古來住吉神社大祭の一行事として船型車の内にて之を歌ひつゝ市中を巡行するを例とし他の場合には妄りに演ぜざる萩市獨特の郷土藝術であります。

目出度ノ又ノエンヨホホン~~~~~ホホ「若」

「枝ウハ~~~~~モエヨエ

エンコノ~~~~~エーエサカハハユーウル

ノーンヨウホ~~~~~ホホホ

ハハハモホホホシ「茂」

イヤー我が住家ハ丹丹波ノ山ノ谷間谷底ノ扱テ柴葉葉ノヤレ庵ノ又ノエンヨホホン~~~~

~~~~~ホホ「夏」

「ミーヤウハ~~~~~コエヨエ

エンコノコノ~~~~~エーエナレエエドーヲモ

ノーンヨウホ~~~~~ホホホ

タハハビイーヒヒイーイワ「悪イ」

イヤー志賀ノ唐崎ナル一ツノ松ハカラコロダ  
ンガイスジリリモヅリリヨンゴーザル  
ウマアツンヅルキンヅルチリタラリン  
スジリリタラハンモヅリリタラオン  
チリツルテレテン聞ケ人ホホリヤレ  
女郎ヤ女郎女郎巡禮ガノ

エンヨホホン~~~~~ホホ「足」

「足イヒ~~~~~モエヨエ

エンコノ~~~~~エーエラヤハハイーイテ

ノーンヨウホ〜〜ホホホ

6

速エエエエ「持」

イヤ皆モ御存知御座リマアーシヨガナ  
浦ノ書院ノ小松ノ小枝ニ百舌ガ宿リテ  
明日ノ夜明ニハナークリンヤキリンヤ  
エーキリキリンキリトモノー

扱テ鳴クヨ鳥エ鳴クマイカマーターノー

エンヨホホン〜〜ホホ「鳥」

「嶋ークウハ〜〜モエヨエ

エンコノ〜〜エーエミヤーハハマアー

ノ ノーンヨウホ〜〜ホホホ

トラホホホホホ「トギス」

目出度イーヤア若

「枝ウハーモヲ「ヤヨイ」

### 萩 小唄

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、維新の花も

コラよいとこ萩の町、

こゝに起りし風に咲くよ

シヤナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連らうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、松陰神社

コラよいとこ萩の町、

いさを思へば袖に露よ

シヤナイカネータ〜泣いてねた

とこ連らうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

7

萩はよいとこね、偉人の生地

コラよいとこ萩の町、  
學びの庭の道しるべ

シヤナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、明倫館の

コラよいとこ萩の町、

昔しのばす石のふみよ

シヤナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、笠山のぼり

コラよいとこ萩の町、

下にや名高い鯛の池よ

シヤナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、外國までも

コラよいとこ萩の町、

かほりわたれる夏蜜柑

シヤナイカネータ〜食べてねた

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、志都岐のお城

コラよいとこ萩の町、

武士の心の花の雲よ

シヤナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

ㄨ萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、海水浴に

コラよいとこ萩の町、

夏を忘れる菊ヶ濱よ

ㄨジャナイカネータ〜磯でねた

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

ㄨ萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、長門峽の

コラよいとこ萩の町、

紅葉眺めて下る舟よ

ㄨジャナイカノンタ〜ゴロジマセ

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

ㄨ萩はよいね、アラドウシタネ

萩はよいとこね、面影山を

コラよいとこ萩の町、

君に見せたい雪の朝よ

ㄨジャナイカネータ〜誰とねた

とこ連ろうて行こうかのう、あらおいでませ

### 新萩小唄

ㄨ可愛い殿御と名勝を巡るアラヨ

萩の史蹟は日本一

ㄨ戀路も深い深の町 アラヨ

情の浮島常磐島

ㄨ長門峽は阿武川下り アラヨ

平家の昔を語りつゝ



〱本場蜜柑に蒲鉾添へて アラヨ

主にあげたや萩土産

〱松下村塾昔を偲ぶ アラヨ

明治維新の國柱

〱晴れて二人が阿武の松 アラヨ

其の陸言を菊ヶ濱

〱闇の倉江も光りを受けて アラヨ

明き玉江の秋の月

〱花になりたや指月の櫻 アラヨ

山も臙に薄化粧

### 夢の萩街

作詞 藤村壽史

作曲 安藤清彦

一夢の萩街 狭霧（さきり）に明けりや

沖のかもめに

潮時きいて

銅羅（どら）はなるなる

港は晴れる

満洲航路の

満洲航路の

アノ船が出る

川 島 堤（つゝみ）

二櫻咲く櫻咲く

ボート浮べて

あの娘と二人

おぼる霞の

夜櫻見れば

戀のぼんぼり

戀のぼんぼり

アノ灯がうるむ

三君とひとゝき

指月（しづき）の公園（その）を

そゞろあるけば

若葉がもえる

偲ぶ御維新

天守の崖（がけ）は

一に三つ星

一に三つ星

アノ紋どころ

井井 2/4

夢の萩街

6 1̇ | 2̇.2̇1̇2̇ | 5̇5̇5̇4̇ | 2̇ 0 | 2̇.3̇2̇1̇ | 6̇5̇4̇5̇6̇ | 5 2 | 2 0 |

3.3.2.3 | 6̇1̇1̇6̇1̇1̇ | 2̇3̇2̇1̇6̇1̇ | 2̇ 3̇3̇ | 2̇ 1̇1̇ | 2̇1̇6̇1̇ | 2̇ - | 2̇3̇2̇1̇ |  
ゆめ - の - はぎ -

654 | 5 1̇6̇ | 2̇.1̇ 6̇1̇ | 5 6̇4̇1̇ | 2 - | 2 654 | 24 54 | 6. 4 |  
ま - ちさぎ り - - に - あけ りや - おきの か も め -

5 1̇1̇ | 6. 5 | 6 1̇6̇1̇ | 2 - | 2 1̇3̇3̇ | 2 1̇ | 6 - | 5 45 |  
に しほ と き - きい - て - たらが なる な る みな

15 6 2̇1̇6̇ | 5 6 4 | 5 - | 5221 | 245 | 6. 1̇ | 2 - | 2 545 |  
さ - の - - ほこり - - まんしゆこう - ろ - の - - まんしゆ

2 1̇2̇ | 6. 54 | 2 24 | 5 45 | 6 1̇ | 2 - | 2 - 0 ||  
こう - ろ - の あの ふ ね - が てる

四夏はお臺場  
空は紺碧  
ビーチパラソル  
波に五色の  
アノ花が咲く  
五伸びる港の  
楽しいドラキブ  
逢ふて嬉しや  
池の面に  
アノ躍る魚

あの菊ヶ濱  
松吹く風に  
濱邊に集や  
波に五色の  
姿を見つゝ  
笠山登山  
明神様の  
池の面に

bb $\frac{7}{4}$

春 は 櫻

3̣3̣|3̣671|3316|7-|1317|67|1764|30

3̣66|7̣66|3̣i1||7̣67|7-|7̣673̣|i7|646  
ハア - - はるは さくら -

7̣i6|7̣32|3̣46|7-|7̣676|7̣3̣|i7i|664  
の ヨイヤサおほりば - た - しのぶにのま - るさん

6̣764|3-|3232|343|23|346|4346|73  
の まる - - ひがさねひがさ - くるく - る - とエ

3 | i 3i7 | 6 4 | 3 - | 3 643 | 7 23 | 4 3 | 3 4 6 16  
- - くる - くる と - - いとしあの - この - あで

73i6|7-|70||  
チ - が - た - -

春 は 櫻

作詞 英城  
作曲 安藤清彦

一ハア春は櫻のヨイヤサ

お 濠 端

偲ぶ二の丸三の丸

日傘繪日傘くるくると

エーくるくると

いとしあの娘のあで姿

二ハア一軒に提灯 ヨイヤサ

遠 ば や し

こよひ春日の宵 祭

燃ゆる想ひをお神囃に

エーお神囃に

引いて恥かし鹿の子帯

御 料 理

梅 月 庵 萩市東田町 電話三一七番  
 高 大 亭 萩市唐樋町 電話六五・三〇〇番  
 醉 月 萩市川島 電話一〇四番  
 う れ し 野 萩市江向 電話一七〇番  
 吉 山 別 荘 萩市上五間町 電話五二番  
 中虎事 常 磐 亭 萩市椿町 電話二四一番

三ハア一むかし名残なごりの ヨイヤサ

お 臺 場 に

更けて千鳥を菊ヶ濱

夏は涼風白砂すずかぜしらすなの

エー白砂の

渚なぎさに寄せる人の波

四ハア一萩の新堀しんぼり ヨイヤサ

橋 ざ ころ

どこへ懸けよか戀こひの橋

濡れて逢あひたや新川しんかはで

エー新川で

煙けむる鶴江は時雨しぐれぞら

自動車の……

御用は

萩合同タクシー

組合へ

電話二八一・五二番

御旅館は……

萩市旅館組合

